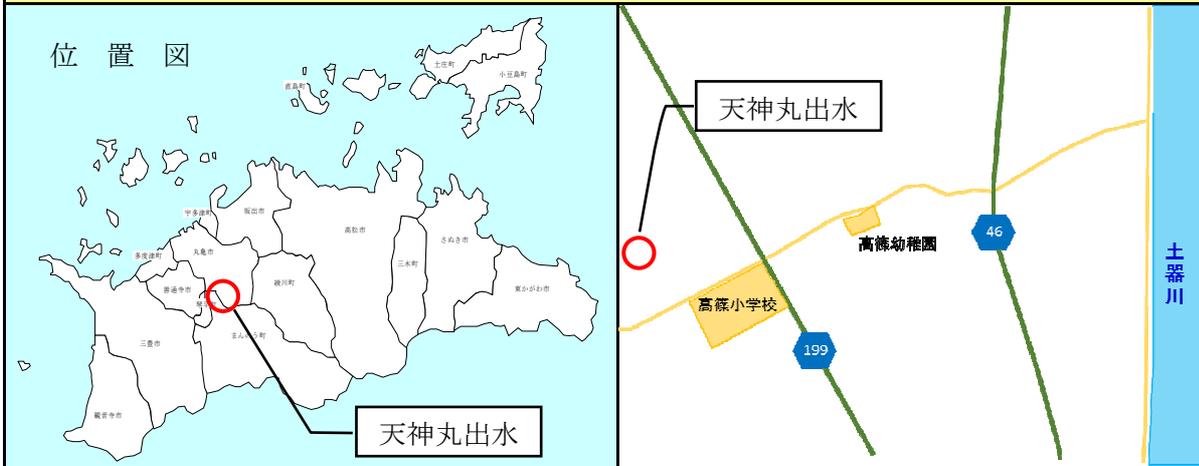


天神丸出水（てんじんまるですい）



香川県の中西部に位置し、金刀比羅宮が鎮座する象頭山ぞうずさんの東部に広がる平野の一角を占める仲多度郡まんのう町には、農業用水を使用する時期に、出水から清水が湧き出ています。

出水（ですい）は香川県の方言で、水の湧き出ている所または泉や湧水のことを指します。出水は昔から様々な用途に使われてきており、そこで野菜を洗ったり、洗濯をしたりして、地域の人の生活と密着していました。

この天神丸出水の記念碑には、明治初期（1870年頃）竣工し、平成16年1月補修したと刻まれており、約140年間に渡り地域の人々により、親水の間として護られています。また、同地区の土器川左岸近隣では、土器川生物公園、祓川ウォータパークはらいかわなども整備されています。

現在の「天神丸出水」は、非灌漑期かんがいきには水量が枯渇しますが、農業用水を使用する期間は、天下の満濃池の下流で一級河川土器川の隣接地でもあり、清澄な水環境が保たれており、生き物を育む貴重な場となっています。



天神丸出水（北側から）



天神丸出水（南側から）